

新潟市マンガ・アニメ情報館

新潟市マンガの家

平成 27 年度 指定管理業務報告書

- 1 入館状況
- 2 施設管理運営状況
- 3 情報館 実施企画展
- 4 家 実施企画展 特別講座
- 5 施設間連携
- 6 広報活動

新潟市マンガ・アニメ情報館 新潟市マンガの家 指定管理者  
にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体  
代表法人 学校法人新潟総合学院

## 1. 入館状況

平成 27 年度入館者数：新潟市マンガ・アニメ情報館 97,525 人

新潟市マンガの家 33,624 人

2 館合計 131,149 人

(2 館合計目標 140,000 人に対し 93.6%)

マンガの家講座受講者数 2,089 人

※別添資料：情報館 27 年度減免規定・団体利用者数（年度まとめ・月別）

新潟市マンガ・アニメ情報館（以下、情報館）と新潟市マンガの家（以下、家）は開館 3 年目を迎え、存在の認知も進んできていることから、このジャンルを好む特定のお客様だけではなく、さらにより広い層のお客様の利用を促進することを念頭に運営してきた。情報館の企画展示については、小・中学生の低年齢層に人気のある作品から、40 代～50 代の女性層を獲得できる「わたしのマーガレット展」など、作品の内容的に幅の広いラインナップとする一方、家はマンガの蔵書数を増やすことを中心に、固定した客層の獲得を進めた。また、5 月に開催した情報館企画展「もやしもん×純潔のマリア原画展」では南区のアグリパークとの間で展示や様々な体験講座などの連動企画を多数盛り込み、話題を創出、多くのお客様に両館をご利用いただいた。家ではよりコアな客層を取り込める「諸星大二郎展」を大規模に展開。より専門的な内容としたマンガの蔵書と相まって、家の内容の濃さの認知につながった。以上のような取り組みにも関わらず、両館合計入館数の目標に 8% ほど届かず、残念な結果となった。展示作品の人気度などが大きく影響することが考えられるが、TVCM の活用や話題性のある企画を盛り込むなど、広報手段を検討し次年度以降の課題としていく。

一方、各展の開催経費については、連続する企画展の間で企画段階から共通にできるものを盛り込み設計。特に基礎造作壁などで共通部材を多くするなどし、経費の圧縮を図り、実行委員会パートナーへの負担を軽減し、かつ効率的な運営ができた。これらのノウハウは次年度以降も大いに活かしていきたい。

## 2. 施設管理運営

両館ともお客様、スタッフに大きな事故やケガもなく、安全に運営することができた。情報館常設展の展示については新たに「古町と団五郎」のオリジナルアニメをアピールするコーナーが設置され、新鮮味を加えることができた。また、情報館常設展展示設備においては不具合が多く発生するようになり、下半期はその対応に追われることが多くなった。

特に「にいがたのマンガ・アニメクリエイター」のモニターの故障は大きな障害となったが、機種の変換により回復している。家ではマンガ本閲覧コーナー「マンガの部屋」の蔵書が1万冊となり、質、量ともに十分ボリュームのある内容となった。

### 3. 情報館 実施企画展

#### ① 『もやしもん×純潔のマリア原画展』

開催期間：5月16日（土）～6月21日（日）

主催：もやしもん×純潔のマリア原画展新潟実行委員会

マンガ家・石川雅之氏の作品「もやしもん」「純潔のマリア」「純潔のマリア exhibition」全巻より抜粋した原画や、未公開原画も合わせた300点以上を展示する原画展。原画展限定のオリジナルグッズも販売。情報館前には人気キャラクター「オリゼー」の巨大なバルーンを上げるなど展示室の枠を飛び出した立体的な展示会場となった。また、公立の教育ファーム「新潟市アグリパーク」と連携し、マンガ「もやしもん」にも登場する発酵食品を題材とした発酵講座をアグリパークにて開催。世界一臭い食べ物「シュールストレミング」を開封するイベント等、様々なコラボ企画を実施し、週末に当館とアグリパークを結ぶ巡回バスを運行するなどの施設間連携を行った。



#### 【関連企画：新潟市アグリパークとのコラボレーション】

企画展の開催期間中はアグリパークをマンガ「もやしもん」の世界に触れてもらうため、当館でキャラクターのスタンディや大量のキャラクターPOPを作成し、アグリパーク館内を飾り付けた。



体験講座実施回数は以下の通り。

会期中毎日実施：5種類（ヨーグルト作り、ピザ作りなど）

発酵についての特別講座：毎日曜日 計7回

発酵博覧会と題した世界の発酵食品の展示や味見ができる体験会も実施した。

#### 【関連イベント】石川雅之先生サイン会

会場：情報館前B P 2 共用部

当初の予定では各回60名の合計120名の設定であったが、応募総数は過去最高の200名近くとなった。結果、石川先生のご厚意もあり、当選者数を大幅に上げての開催であった。

石川先生は「丁寧にファンひとりひとりにイラストを描いてサインをする」ので、終了するまでにかなりの時間を要したものの、石川先生は第1部と第2部の間の休憩時間もほとんど取らずにサイン会を継続して頂いた。

最終時間は18時近くとなってしまったが、並んでいるお客様からもクレームはなく会場内もよい雰囲気ですサイン会を終えることができた。



② 『絵師 100 人展 05 新潟篇』

開催期間：6月25日（土）～7月26日（日）

主催：絵師 100 人展 05 新潟篇新潟実行委員会

当館の設立年度より実施している企画展。毎年ゴールデンウィークに AKIBA\_SQUARE（東京秋葉原 UDX）で開催されるが、本年の当館での開催は東京会場に続き、全国でも 2 番目の開催となった。当館で「絵師 100 人展」が行われることは新潟県内や隣県のファンにも定着しつつあり、毎年東京まで足を運ぶ熱心なファンを取り込んできている。毎年継続して開催することにより、新潟市出身の絵師（イラストレーター）の輩出にも繋げていきたい。



【関連イベント】

■7月12日（日）絵師サイン会

会場：情報館ミニシアター

出展作家の中から珈琲貴族先生、CHOCO先生両氏によるサイン会を実施。どちらも50人の定員を上回る人気ぶりで大変盛況だった。全参加者の2割が県外からの方で、隣県はもちろん、関東圏からの参加もあり、人気の高さがうかがえた。



### ③ わたしのマーガレット展

開催期間：8月1日（土）～9月23日（祝）

主催：わたしのマーガレット展新潟展実行委員会

1963年の創刊以来、様々な題材で楽しく、美しいストーリーを織り上げてきた少女まんが誌「マーガレット」「別冊マーガレット」創刊50周年を記念し、少女まんがの半世紀を貴重な作品原画約400点でふりかえる壮麗な展覧会を開催。親子3代にわたって楽しんでいただける内容となっており、多くの女性客で賑わった。『ベルサイユのばら』のオスカルとアンドレの等身大立像フォトスポットのほか、少女まんがならではの世界観に浸ることのできる映像展示、展覧会限定グッズを販売するショップも展開した。親子3代にわたって楽しんでいただける内容となっており、多くの女性客で連日賑わった。また、夏休み期間でもあることから県外からのお客様も多かった。歴史的な価値も含んだ貴重な原画を多くお預かりしたため、この期間の会場温湿度の管理にはいつも以上に細かくケアし、無事に会期を終えることができた。



#### 【関連イベント】

##### ■9月6日（日）幸田もも子先生サイン会

マーガレットの人気作家、幸田もも子先生のサイン会を開催した。同時期に幸田先生の人気作「ヒロイン失格」の実写映画も公開もあり、全国から大変多くの参加申し込みがあった。申込者のうち県外率は32.4%、当選者の中では東京、埼玉、千葉、群馬、神奈川の関東圏の他、山形、兵庫、愛知からも来館して頂いた。参加者と個別の空間でサインを差し上げたいとの先生の希望から、当館常設展示室の「ピックアップコーナー」をサイン会会場に作り変えてお客様を一人ずつ呼び出す形式で行った。サイン色紙を受け取ると涙ぐんでいるお客様もあり、熱狂的な人気ぶりが印象的だった。



#### ④ 『弱虫ペダル原画展』

開催会期：9月26日（土）～11月30日（日）

主催：弱虫ペダル原画展新潟実行委員会

高校生の自転車レースの世界を描いた同作の原作マンガとアニメの原画を約300点展示。若い女性からの圧倒的な人気を保持している作品とあり、多くの来館が見込まれることから、会期も前、後期に分け、約2か月に渡り開催した。ポスター、チラシなどの広報物も、県内自転車店、弥彦競輪場、自転車イベント会場などに配布し、マンガ・アニメジャンル好きのお客様だけではなく、自転車趣味の方々も取り組む広報を展開した。また、展示内容にも地元自転車店さんの協力を得て、劇中に登場する自転車を数台展示するなど、新潟会場ならではの立体的な展示を施した。



#### 【関連イベント】

##### ■ 「がたふえす」コラボイベント

10月24日（土） 山下大輝トークショー

同作主人公の声を演じる、声優山下大輝さんのトークショーを「がたふえす」とのコラボイベントとして開催。申込者のうち県外率は12.8%、当選者の中では東京、埼玉、栃木、千葉、神奈川の関東圏の他、愛知、大阪、秋田、山形、富山、福島、長野、静岡からも来館して頂いた。当日は「先に並んだ方がステージ前に座れる」ことから、朝7時から並んでくださるお客様もいた。ネット上での評判も上々で、お客様の中から「山下君を呼んでくれてありがとう！」と直接お声掛け頂いたスタッフもいる程、お客様に大変満足して頂いたイベントとなった。



⑤ 『ソードアート・オンライン エキシビション ～THE SEED～展』

開催期間：12月5日（土）～1月12日（祝）

主催：「ソードアート・オンラインエキシビション ～THE SEED～」新潟展実行委員会

全世界累計発行部数 1,670 万部を突破したアスキー・メディアワークスの電撃文庫「ソードアート・オンライン」。その作品世界を体感できる展示会『ソードアート・オンライン エキシビション～THE SEED～』（以下、SAO展）を開催した。これより連続する年度末までの3つの展示を合わせて「冬の3催事」と銘打ち、告知することで、冬の客足が鈍ることへの対策としてのキャンペーンとした。また、実行委員会やプロモーターも3催事共通になることから、設計、運営などを効率的に行い経費の圧縮を進めることができた。その第1弾となるSAO展は新潟独自の照明やスモークを多用し、先の巡回会場とは違う演出を盛り込むことでお客様より好評を得た。また、小中学生の来館者も多く、お正月を挟み、無料入館サービスを利用される家族連れも多く来場された。



⑥ 『デュラララ!!STREEET!!Territory of Exhibition 展』

開催期間：1月16日（土）～ 2月12日（日）

主催：デュラララ!!STREEET!!Territory of Exhibition 展新潟実行委員会

2009年7月にテレビアニメ化が決定し以来、長く人気を獲得している同作の世界観を再現した展示会。会場には工事現場に置かれる表示物や電柱などが置かれ、雑多な街の雰囲気再現した。会期中に同作の人気キャラクターが誕生日を迎えることもあり、その誕生日を祝う展示やお祝いメッセージを書き込める壁面を用意するなど新潟会場オリジナルの内容を盛り込むことができた。お祝いメッセージは用意した壁一面に沢山のメッセージが入り大いに賑わった。



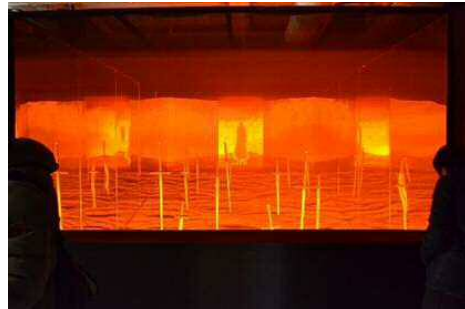


⑦ 『Fate / stay night [Unlimited Blade Works] 展』

開催期間：2月16日（土）～ 4月10日（日）

主催：Fate / stay night [Unlimited Blade Works] 展新潟展実行委員会

2014年から2015年に渡ってアニメ化され、人気を博している同作の名場面を等身大フィギュアやジオラマを使って再現した体感型の展示会。オリジナルの照明・音響の演出を加え、新潟独自の展示となった。「冬の3催事」とも入館促進策としてアニメグッズ専門店などとの入館、販促キャンペーンを張り、特に10代～20代の若い層の入館者を多く獲得した。



## 4. 家 実施企画展 特別講座

### 【企画展】

① 『古町5番町萌えキャラプロジェクト キャラクター展示』

開催期間：4月6日（金）～10月23日（金）

古町5番町商店街組合と日本アニメ・マンガ専門学校のコラボ企画として毎年「がたふえす」で披露されている「萌えキャラプロジェクト」を紹介。今年は展示期間を決めず、常態的に展示し、新しく仲間入りしたキャラクターなどを入替えながら展示した。商店街の各店、各商店のイメージを萌えキャラにして販売促進に使用したこのプロジェクトはマンガ・アニメジャンルを使用した産学連携の実例として新聞、TVにも取り上げられた。毎年継続した企画となっていることから、商店街との連携の意味でも可能な限り展示し、アピールしていきたい。

② 『なかよし60周年記念ギャラリー』

開催期間：10月24日（土）～3月8日（火）

2015年に現存する日本最古のマンガ雑誌として創刊60周年を迎えた同誌の展示。歴代雑誌表紙やお宝ふろくなど貴重な展示物をお預かりできた。同時にコミックスの販売も行い、小さいお子さんからも好評を得た。

③ 『放課後のプレアデス展』

開催期間：10月29日（木）～11月24日（火）

新潟市出身の山賀博之氏が代表を務めるガイナックス制作による同作の複製原画など約60点を展示。がたふえすで展開した同作展示内容を引継ぎ、展示延長したもの。また、古町商店街、飲食店4店とコラボし、同作をイメージしたオリジナルメニューを提供するキャンペーンも展開した。

④ 『第18回にいがたマンガ大賞作品展』

開催期間：2月25日（木）～4月5日（火）

今年度のにいがたマンガ大賞受賞作品を毎週各部門ごとに分けて展示した。3月20日には受賞者を対象にした1次審査委員による個別の作品講評会も実施。合わせて作品の販売も始めた。昨年よりにいがたマンガ大賞の事務機能をマンガの家に集中しており、展示についても期間を限定せず、常態的に展示するような形を考えた。

⑤ 『諸星大二郎原画展～マッドメンの世界』

開催期間：3月16日（木）～5月1日（日）

マンガ界の鬼才、諸星大二郎のマッドメンシリーズを中心にした展示会。同シリーズの新作マンガ原画やカラーイラスト、同作の企画として訪れた作品の舞台であるパプアニューギニアで描かれたスケッチ、30～40年前の「マッドメン」原画など約40点に加え、新潟オリジナルの装飾演出を加え、同作の世界観を体感していただけるような会場とした。また、河出書房様のご協力により、新潟市出身の高橋留美子と諸星氏の対談記事を展示パネルにすることができた。スタートからコアなファンが全国から駆け付け、好評を得た。

【特別講座】

① マーガレット編集部 出張マンガ作品指導

開催日：7月31日（金）

情報館「わたしのマーガレット展」開催を記念して、集英社マーガレット編集部様による個別指導会。完成原稿やネームなどを直接編集部員の方に添削してもらえ、る内容として実施。合計5名の少女マンガ志望者が参加した。

② Beineのコミックワークショップ

開催日：10月25日（日）

マンガ家・イラストレーターでにいがたマンガ大賞の二次審査員も務めるBeine先生による作品添削会。参加定員は50名。一人一人のマンガ原稿、ネーム、イラストに対し対面で添削し、その内容を会場のギャラリーも聴講できる公開講座形式。

白熱した先生の指導に会場も緊張感に包まれていました。毎日開催している「マンガのいっぽ」に加え、このような直接プロに見てもらえる、次代の作家を育てるイベントを今後も増やしていきたい。

## 5. 施設間連携

家、情報館の連携について、今年は赤塚不二夫先生の生誕 80 周年にあたることを記念したクイズラリー「おそ松くんを探せ」キャンペーンを軸に、様々な内容で両館の利用促進、街の回遊策として活用した。以下にタイトルのみ記録。

情報館	家
赤塚不二夫「おそ松くんを探せ」	赤塚不二夫「おそ松くんを探せ」
わたしのマーガレット展	関連講座「女の子の描き方」など計 2 回
わたしのマーガレット展	集英社マーガレット編集部出張指導
絵師 100 人展	関連講座「マンガのいっぽ」計 2 回
両館利用でポストカード進呈	諸星大二郎原画展

### ① 出前美術館

新津美術館主催の出張型美術授業（アウトリーチ）として、情報館・家の「マンガ講座」

を年間 8 回行った。内容は「誰でも描ける！簡単マンガキャラクターの描き方」とし、デッサン法をマンガ的な解釈で伝え実践させるもの。顔の基本、顔の向きの変え方、人体の基本、手、足の描き方、ポーズの描き方を約 1 時間～2 時間で展開する授業。対象は小学校 4 年～中学校とし、新津美術館より各学校へ募集をかけていただいた。冒頭には情報館と家の PR を入れさせていただき館の広報活動としても活用させていただくと共に、マンガ家、アニメーターのお仕事を伝えることで職業啓蒙的な内容も含んだ授業とした。このジャンルの次代の担い手やファンを生んでいく意味のある取り組みだと感じており、今後も引き続き取り組んでいく。

今年度は小新中学校、山ノ下小学校、県立東新潟特別支援学校など全 8 校、延べ 300 名の参加があった。

## 6. 広報

情報館・家の広報について、日常的なものとしては各ホームページ（HP）とツイッターを中心に活用し展開した。各HPの情報を、リンク先、新潟市のアニメ・マンガPRサイト「Mang Animeナビ」や入居施設「ビルボードプレイス」のHPなどに掲載。ツイッターに関してはこのジャンルを好む層に向けて大変有効な伝達手段であるため、その反応をつぶさに分析しながら、昼夜問わず効果的なタイミングで展開した。また、実行委員会制の中で地元放送局との連携も強化され、企画展ごとのTVCMを多く打つことができた。いわゆるSNS世代だけではなく、より幅広い層に認知を広げていくためにはTVの活用は必須と考えており、今後も積極的に展開していきたい。

### 【主な広報実績】

TVCM（15秒）：情報館開催各展、マンガの家「諸星大二郎原画展」

TV中継：TeNY「新潟一番」、NST「市政ニュース」、NCV

タウン誌：月刊にいがた、WEEK!、月刊新潟こまち、CUTin、PAsmagazine、  
ジャックランド（上越）、街角コンパス（新発田）

庄内小僧（山形）、月刊山形ゼロ・ニィ・サン（山形）、金沢情報（石川）、  
週刊VOICE（福島）、Monmo（福島）

情報誌：るるぶ、じゃらん、きゃらびい、ガタコト

新聞：妻有新聞、十日町新聞、市報にいがた

情報館・家HP PV数：362,279

## 減免対象（2015年4月～2016年3月）

No.	対象者	2015/4	2015/5	2015/6	2015/7	2015/8	2015/9	2015/10	2015/11	2015/12	2016/1	2016/2	2016/3	合計
1	身体障がい者手帳保持者(本人)	29	55	21	43	50	52	22	15	30	26	16	26	385
2	身体障がい者 介助者	7	7	10	17	19	18	4	4	6	3	2	8	105
3	精神障がい者保健福祉手帳保持者(本人)	18	20	8	16	20	16	9	11	21	12	8	25	184
4	精神障がい者 介助者	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	2	0	5
5	療育手帳保持者(本人)	29	51	24	23	39	35	10	8	25	32	25	13	314
6	療育手帳保持者 介助者	4	7	2	1	5	5	1	2	0	0	3	0	30
7	障がい者自立支援法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	教育課程に基づく学校の利用	2	109	0	10	0	0	0	43	0	0	0	20	184
9	新潟市観光・文化検定 一級合格者	4	2	0	2	1	0	0	0	1	0	4	0	14
10	新潟市観光・文化検定 二級合格者	0	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	5
11	タクシー運転手・観光バス運転手・添乗員、旅館・ホテルのバス等(事業用自動車に限る)の運転手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	観光などで訪れる人を地域で案内する団体のガイド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	市外のふるさと新潟市応援寄付金寄付者	0	2	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	7
14	消防団自主防災組織	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	ネクスコ東日本高速フリーパス利用者(団体割引)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	観光循環バス	27	28	9	22	50	18	10	10	1	12	1	13	201
17	団体	0	0	0	0	21	13	0	47	0	0	3	0	84
18	りゅ〜と利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	新潟市サポーターズクラブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	その他	0	0	41	2	0	0	0	0	0	0	0	0	43
合 計		120	283	115	137	206	162	58	140	86	85	64	105	1561